

10	OCTOBER	2025
10/2(木)～10/31(金)	まゆ玉クラフト「ハロウィン」 【体験料】600円	
1	水	休館日
2	木	まゆ玉クラフト「ハロウィン」 (10/31まで)
3	金	
4	土	
5	日	三屋風・佐野里穂・花田佳奈 フルート・ピアノトリオコンサート
6	月	
7	火	
8	水	休館日
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	【特別体験】絹糸で作る ベルト織りキーホルダー
13	月	スポーツの日
14	火	
15	水	休館日
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	休館日
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	錦鯉品評会
27	月	
28	火	
29	水	休館日
30	木	
31	金	

11	NOVEMBER	2025
11/1(土)～12/25(木)	まゆ玉クラフト「クリスマス」 【体験料】600円	
1	土	まゆ玉クラフト「クリスマス」 (12/25まで)
2	日	前川明音&南部匡恵 クラリネットデュオコンサート
3	月	文化の日 近代化産業遺産 「石油発動機」の展示と実演
4	火	
5	水	休館日
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	休館日
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	太鼓独奏
17	月	
18	火	
19	水	休館日
20	木	
21	金	
22	土	【特別体験】絹糸で作る ランプシェード (11/23まで)
23	日	勤労感謝の日 ゆめおーれで楽しむ! レコード鑑賞会 (11/24まで)
24	月	振替休日
25	火	
26	水	休館日
27	木	
28	金	
29	土	Violin&Cello デュオコンサート 「古典再考」
30	日	

12	DECEMBER	2025
12/1(月)～1/20(火)	まゆ玉クラフト「干支の午」 【体験料】600円	
12/6・13・20・1/10・17・24	手織り体験「マフラー作り」 いずれも土曜日【体験料】2,000円 【時間】10:00～16:00 【申込】要予約、1日2名まで	
1	月	まゆ玉クラフト「干支の午」 (1/20まで)
2	火	
3	水	休館日
4	木	
5	金	
6	土	手織り体験「マフラー作り」 要予約
7	日	雲竜笙子&中野里美 チェロ・ピアノデュオコンサート
8	月	
9	火	
10	水	休館日
11	木	
12	金	
13	土	手織り体験「マフラー作り」 要予約
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	休館日
18	木	
19	金	
20	土	手織り体験「マフラー作り」 要予約
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	休館日
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	休館日
30	火	休館日
31	水	休館日

● 手織り体験 600円 ● まゆ玉クラフト体験 600円 ● その他の通常体験メニュー ※年始は1/3(土)から開館します



昭和初期の勝山と織物業

ー昭和100年によせてー

1926年12月25日、昭和時代が幕を開けました。昭和のはじめ、福井では絹(正絹)にかわって人絹糸(レーヨン)を使った織物業が急速に発展し、勝山でも1934～37年頃を最盛期に人絹織物業が急成長します。恐慌の嵐が吹き荒れる中、福井は「人絹王国」と呼ばれるほどの発展をみせました。

機業場では人手不足が深刻な問題となり、社内旅行や運動会などの慰安行事の開催、託児所の設置などさまざまな社員優遇策を考え、人手確保に努めることとなります。また、大きな機業場では通勤圏外からも人材を確保しようと、寄宿舎を設けるところもありました。なかでも1933年(昭和8)に松文機業場が建てた木造2階建ての寄宿舎は大きく、幅7.5m、長さ50mの細長い建物で3棟も立ち並んでいました。1・2階とも南側には15畳の部屋が6部屋あり、それぞれ5～10名ほどの織子さん(職工)がくらしていました。織子さんは小学校を卒業してすぐの人も多く、夜には裁縫や礼儀作法などを学ぶ青年学校が開催され、教養を身につける場にもなっていたのです。

しかし、産業から人びとのくらしにいたるまで、しだいに国の軍事政策に協力する体制へと変わっていきます。15年間におよんだ日中戦争と太平洋戦争には、勝山からも多くの若者が出征して行きました。また、勝山の一部の機業場では、軍需工場として軍用落下傘の生地(羽二重)が織られ、終戦間際には学校に通う若い学生たちも動員されます。そして1945年の夏、終戦を迎えたのです。



寄宿舎での食事風景(昭和8年ごろ)
松文産業株式会社 所蔵



落下傘(昭和初期)
松文産業株式会社 所蔵

「激動の時代」ともいわれる昭和の日本は、戦争と敗戦、戦後の民主化、復興、高度経済成長など、さまざまな出来事を経験しました。その後、時代は平成から令和へと移り変わり、今日へと続いています。

ゆめおーれ勝山では、昭和初期の勝山の織物会社や、人びとのくらしを紹介する展示を計画しています。詳細は、今後のNewsletterやSNSなどでお知らせします。昭和100年の節目にあわせて、昭和という時代を振り返ってみませんか?